

温泉にまつわる エトセトラ 三つの伝説

疲労困憊で倒れた僧侶を救った?!



奈良時代の東大寺僧侶の円智（えんち）が東国行脚中に大鰐に訪れ、大日如来坐像（実は阿彌陀如来坐像）を移奉するため蔵館地区に高伯寺を建立する最中、病に倒れました。その時、夢の中に菩薩様が現れて「川のほとりの湧いてる温泉に、土用の丑の日・丑の刻に必ず治るから入りなさい。」とお告げがあった。お告げ通りにその日時に入浴したら、円智の病が回復したという伝説。

その後いつからか、毎年7月土用の丑の前日に丑湯祭りが開催されるようになり、温泉祈禱式が行われた後に入浴すると一年間健康に過ごせると信仰されています。その温泉の場所が現在の大湯会館だと伝えられています。

眼の病をも治す霊泉パワー!!



その昔、弘前藩初代藩主の津軽為信が重い眼の病を患っていた。そんな時、夢の中に薬師如来が現れ「大鰐の茶臼山の下から湧き出る温泉で目を洗えば治る」とお告げがあり掘ってみたら本当に熱い温泉が湧いた。さっそくその温泉で眼を洗ったらみるみる眼の病が治ったという伝説。現代の医学では到底説明はできないが、神仏にでもすがる思いだった為信にとっては、とても幸運だったに違いない。

370年前に津軽為信は、病気が治ったという感謝の気持ちでこの大きな石の上に湯魂石薬師堂を建立したといわれている。現在は気軽に立ち寄れる足湯として整備され、憩いの場になっています。

ここ掘れモーモー、一発逆転サクセス伝説!!



関ヶ原合戦の以前、加賀の国（現在の金沢）出身の工藤助弥が織田家との戦いに敗れた後、行商人として東北各地を巡り大鰐に流れ着いた。ある日、連れていた牛が突然草を食べ始めた。助弥は「そいえば、なぜここだけ草が青々してるか?」と不思議に思ったが、そのままうたた寝してしまった。その時の夢に観音様が現れ「お前の落ち着く場所はここだ」とお告げがあり、大鰐に住み着く事に。

その後あの草の場所が気に入り土を掘ったところ温泉が湧いてきた。これこそ夢のお告げに違いないと思ひ浴場と旅館を建て成功したという伝説。

またここは大鰐温泉もやし発祥の場所。冬場も暖かいため地熱を利用して野菜を栽培することができた。当時冬場に貴重なビタミンを摂取できたと考え、さぞかしヘルシーなリゾートだったに違いない。

現在はホットパーク加賀助（足湯）として整備され、地元の人はもちろん、観光で訪れる方との交流の場になっています。

※1 加賀助旅館の画像は、青森県史デジタルアーカイブシステム青森県所蔵県史編さん資料です。3つの伝説は歴史とは違いますが、また諸説ございます。くれぐれも地域に伝わる伝説です。

大鰐温泉の地理的ななりたち

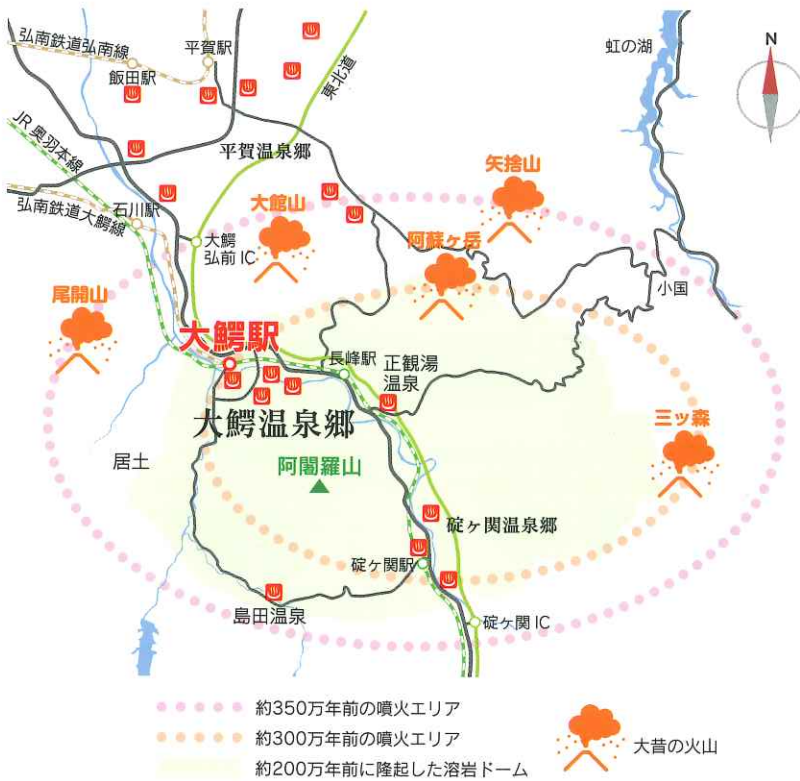
約350万年前に尾開山～大館山～矢捨山の一帯が噴火し、さらに約300万年前に阿蘇ヶ岳～三ツ森が噴火。その後約240万～130万年前に活動した碓ヶ関カルデラの中央火口溶岩ドームが阿闍羅山です。大鰐駅から見えるスキー場山頂方面に位置しています。

大鰐温泉の熱源はこれらの噴火を引き起こしたマグマが、いまだに地中深く活動しているからだと思われます。そのマグマで熱せられ地下水は、火山灰の堆積でできた比較的地盤が柔らかい凝灰質砂岩エリアに貯留されていると考えられています。現に大鰐温泉が自噴はしていないものの、ボーリングする深さも60mほどと非常に浅く湧き出しやすい地理にあります。

温泉街として全国に知れ渡ったのが江戸時代1800年頃発行の諸国温泉功能鑑（温泉番付）から。その後近代になると交通の発達に伴い湯治場として発展。ではそれ以前はどうだったのでしょうか。縄文早期から鎌倉時代までの定住の遺跡が見つかったので、もしかしたら先人たちが温泉を楽しんだのかもしれないですね。（遺跡が発見されていないので温泉利用については不明）

過去の噴火した火山と現在掘り当てられた温泉の位置には、相関関係があると思われます。地下水が熱いマグマで熱せられ、地下を通り地上に温泉として湧き出ているということは、大鰐町は非常に恵まれた土地だと思います。

みなさんも大鰐温泉の成り立ちや歴史、伝説など、思いを馳せながら湯巡りされまじよう、おすすめいたします。



おおわに観光活性化協議会

〒038-0223 青森県南津軽郡大鰐町大字島田字滝ノ沢100-9
青森ワイナリーホテル内
TEL 0172-48-2881



歩いて回れる 街中温泉マジック

ちっちゃぽんと大鰐



おおわに観光活性化協議会
「令和4年度大鰐町住民参加型まちづくり事業」対象事業

入浴のマナー

- 体を洗ってから浴槽へ
- タオルは浴槽の外へ
- 長い髪は束ねよう
- 使った椅子や桶は元に戻そう
- 体をよく拭いてから脱衣所へ
- 洗濯や毛染めはしないで
- 浴槽内で体をこすらないで
- 大切に使う
- 騒がない、走らない
- 洗い場を独占しない
- 湯水を出しっぱなしにしない
- 飲酒後の入浴はしないで

QR QRコードをスマホなどの端末に読み込ませると、過去にあったものや現在もあるものを観ることができます。

歩く時間の目安

大鰐温泉駅～大湯会館	12分	若松会館～温泉民宿赤湯	6分
大湯会館～不二やホテル	4分	大鰐温泉駅～若松会館	8分
青柳会館～大湯会館	5分	大鰐温泉駅～鰐come	3分
温泉民宿赤湯～青柳会館	5分		

1 蔵館財産区 霊湯 大湯会館

青森県南津軽郡大鰐町大字蔵館字村岡53-2
 TEL 0172-47-8244
 営業時間/6:00~21:00
 休業日/毎月第2水曜日
 入浴料/中学生以上200円、小学生以下80円
 備品/無料ヘアドライヤー、無料コインロッカー



2 大鰐財産区 青柳会館

青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字湯野川原27-2
 TEL 0172-48-4002
 営業時間/6:00~21:00
 休業日/毎月第3火曜日
 入浴料/中学生以上200円、小学生以下80円
 備品/有料ヘアドライヤー、無料貴重品ロッカー



3 大鰐財産区 若松会館

青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字大鰐59-1
 TEL 0172-48-4001
 営業時間/6:00~21:00
 休業日/毎月第2火曜日
 入浴料/中学生以上200円、小学生以下80円
 備品/有料ヘアドライヤー、無料貴重品ロッカー



4 公衆浴場 鰐の湯 (ワニカム内)

青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字川辺11-11
 TEL 0172-49-1126
 営業時間/9:00~22:00
 休業日/毎月第3木曜日
 入浴料/中学生以上500円、小学生250円
 備考/露天風呂、サウナ、リンスインシャンプー・ボディソープ、無料ヘアドライヤー、無料コインロッカー、有料レンタルタオルセット

